

すいすいビジョン2029に基づく アクションプランの評価について

第14次 吹田市水道事業経営審議会
(第2回)



説明内容

● 本日の趣旨

● アクションプラン の位置付け

● これまでの ^{Do} 実施 と ^{Check} 評価・^{Action} 改善

安全

強靱

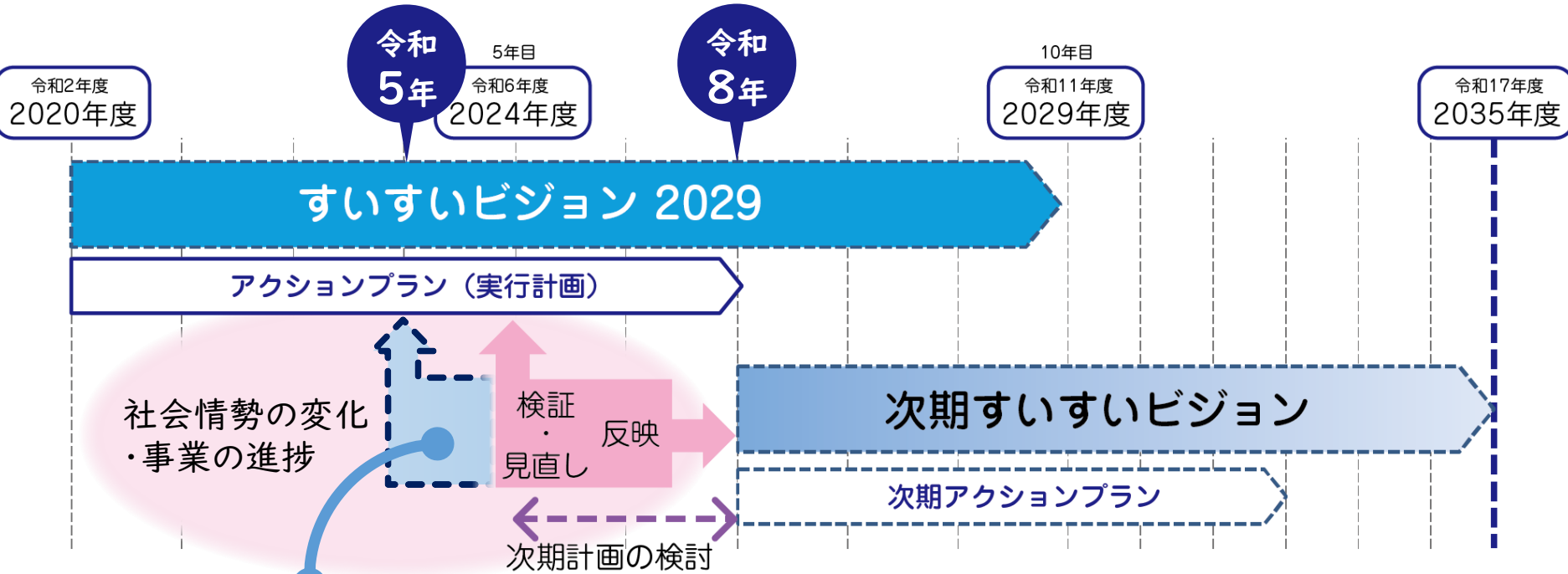
持続

地域

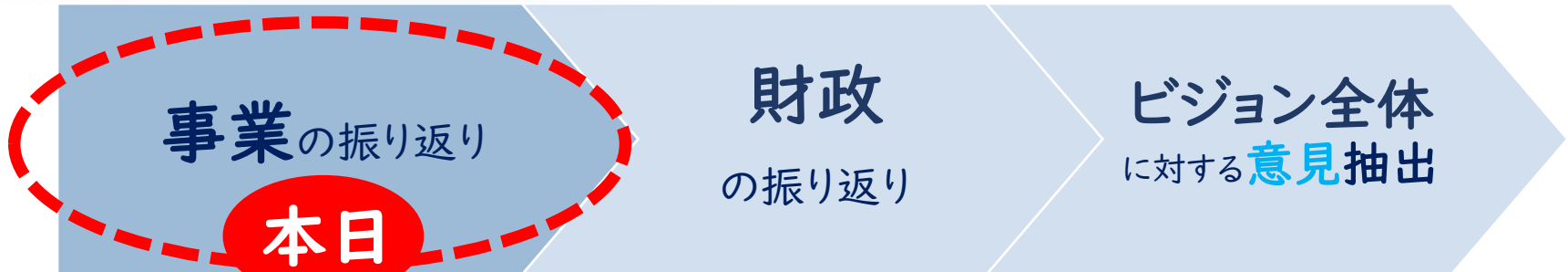
● ^{Plan} R5 の計画

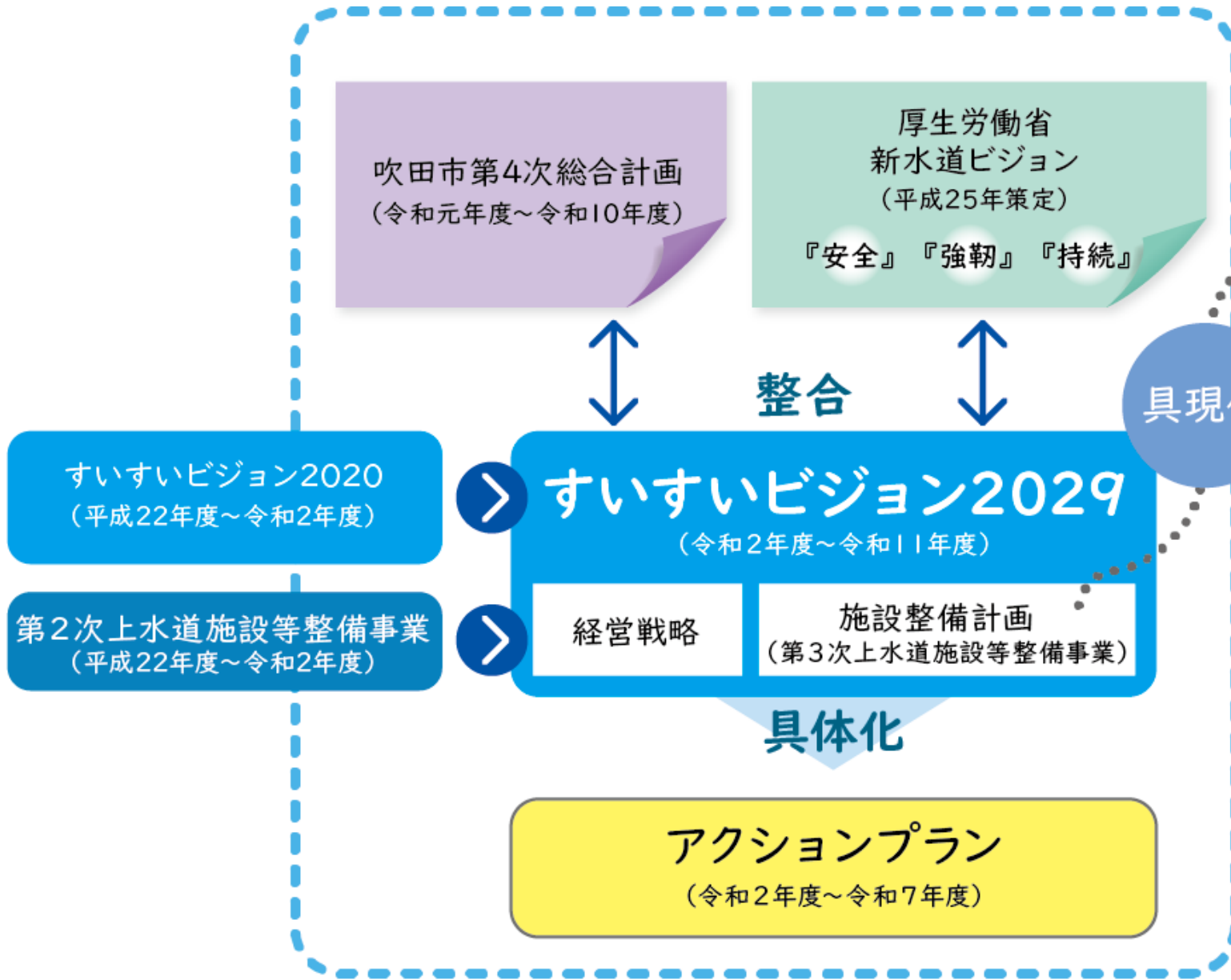
本日の趣旨

「すいすいビジョン2029」は **5年目** (令和6年度) に **見直し**



見直し・検証に向けた **意見抽出**





吹田市第4次総合計画
(令和元年度～令和10年度)

厚生労働省
新水道ビジョン
(平成25年策定)
『安全』『強靱』『持続』



整合



すいすいビジョン2020
(平成22年度～令和2年度)



すいすいビジョン2029
(令和2年度～令和11年度)

経営戦略	施設整備計画 (第3次上水道施設等整備事業)
------	---------------------------

具現化

第2次上水道施設等整備事業
(平成22年度～令和2年度)



具体化

アクションプラン
(令和2年度～令和7年度)

「吹田市水道施設マスタープラン」
(平成25年(2013年)3月策定)
おおよそ40年先の将来像と施設整備の方針

すいすいビジョン 2029

(令和元年9月策定)

基本理念

未来につなぐ 市民と育む
信頼のすいた水道



10年計画

6年間
アクションプラン
(実行計画)

基本方針

安全

I 安全で安心できる
水道水の供給



持続

III 将来にわたり
持続可能な
水道事業の経営



強靱

II 災害に強く、
安定して供給できる
水道施設・体制の構築



地域

IV 吹田らしさを活かした
市民に身近な
水道事業の運営



片山浄水所における水処理について

処理施設の更新目的と概要

築造から60年以上が経過し、
災害に強い安定した拠点施設として、
複数水源の効率的な確保と耐震化などを図り、
抜本的に施設を更新（工期：平成28年度～令和3年度）

新処理施設の特徴

1 安定した浄水処理

狭隘な敷地内で地下水の水質に最適な**膜ろ過**方式

2 災害に強い浄水所

取水から浄水・排水処理まで**自己完結型**の**耐震化**施設

3 水資源の有効利用

汲み上げた地下水の**99.5%**を利用

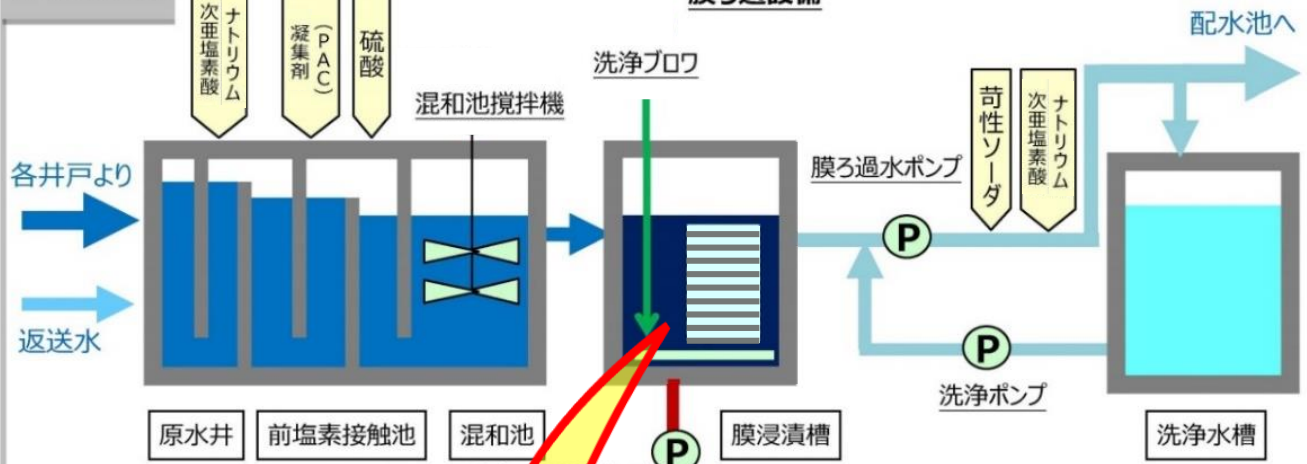
旧処理施設



新処理施設



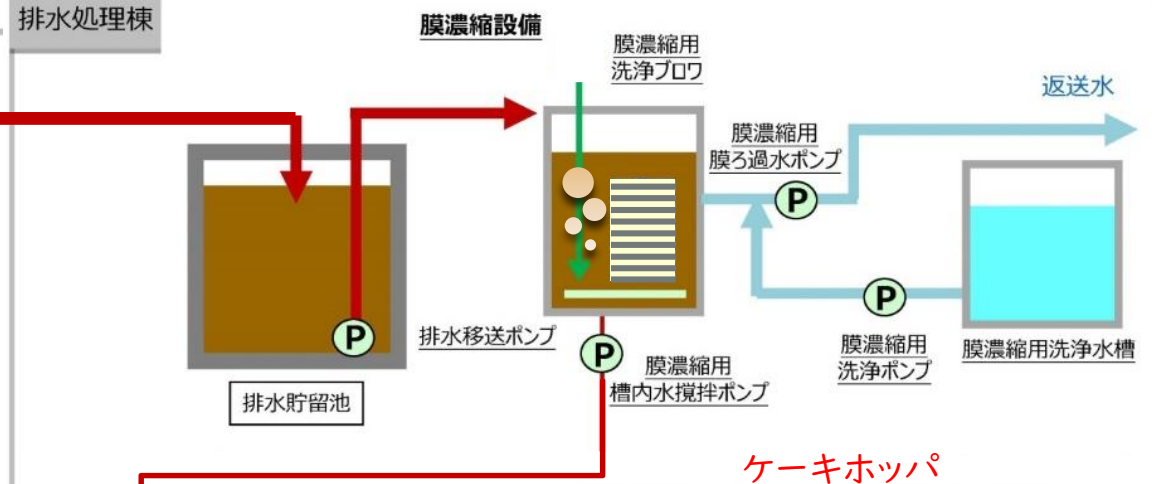
浄水処理棟



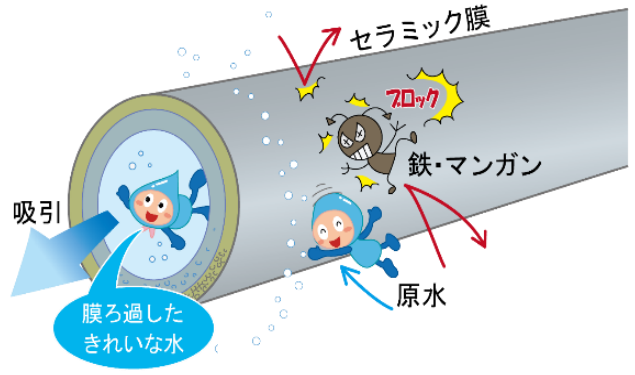
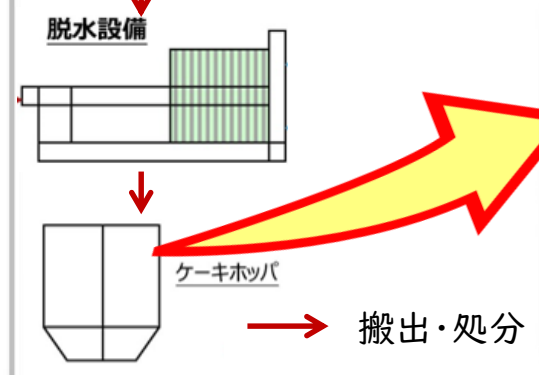
膜浸漬槽



排水処理棟

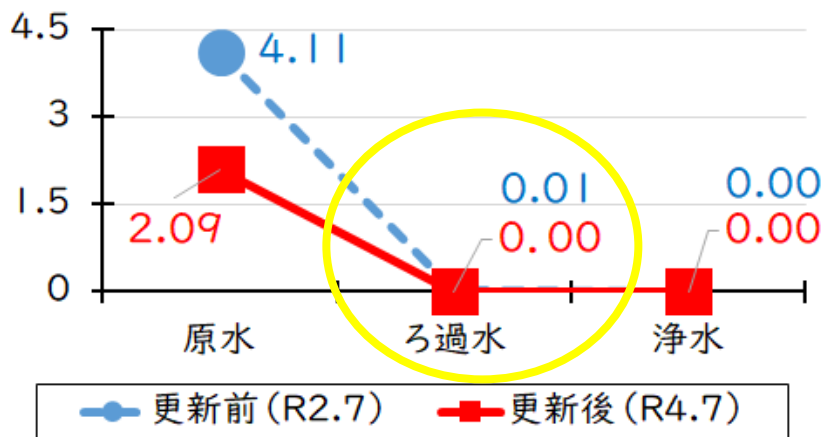


ケーキホッパ

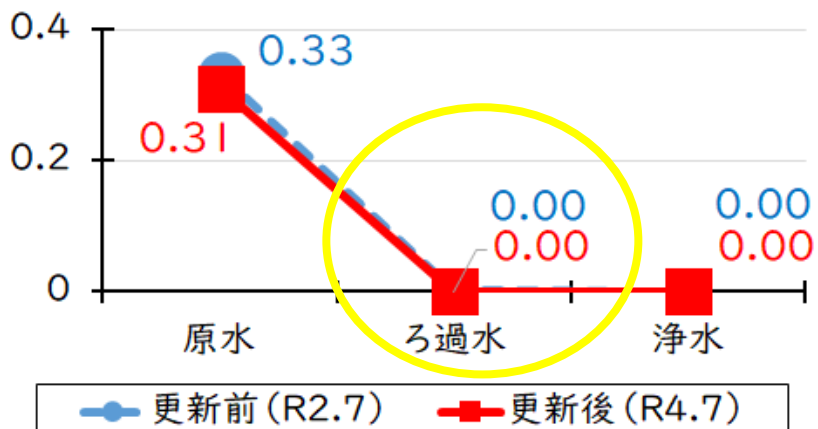


水質検査結果の推移

鉄 及びその化合物 (水質基準値: 0.3 mg/L以下)



マンガン 及びその化合物 (0.05 mg/L以下)



ろ過膜の維持管理

膜の目詰まりや損傷などのトラブルを判断するための主な **重要監視項目**

膜を通過する **水量**

膜ろ過後の **濁り**

膜前後の **圧力差**

処理排水の **濁り**

物理洗浄 (1時間に1回)

膜のろ過性能を保持するために、**日常的**に逆圧水(逆流水)にて膜を洗浄

薬品洗浄 (年1回)

膜のろ過性能を保持するために **定期的**に化学薬品を用いて膜を洗浄



Ⅱ 災害に強く、安定して供給できる水道施設・体制の構築

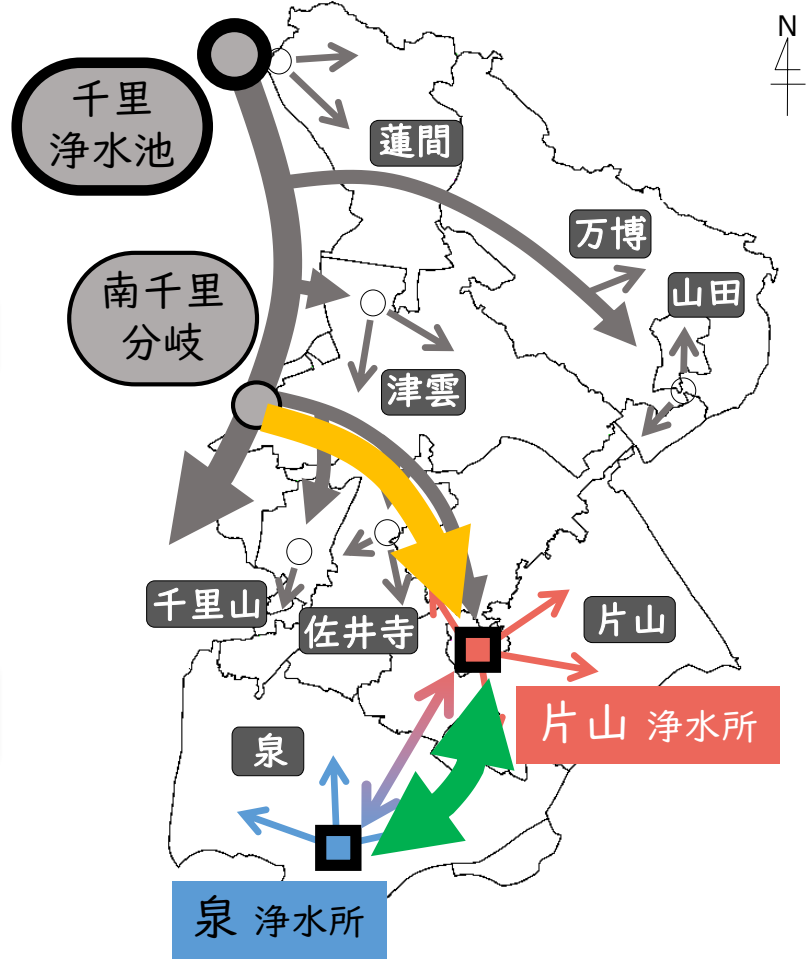
片山水処理施設 更新完了



片山・泉連絡管 整備完了



泉地下水浄水機能 停止予定 (R5)



南千里分岐・片山浄水所 送水管 整備中 (~R10)



片山構内 整備中 (~R7)



片山構外井戸 整備中



安全

強靱

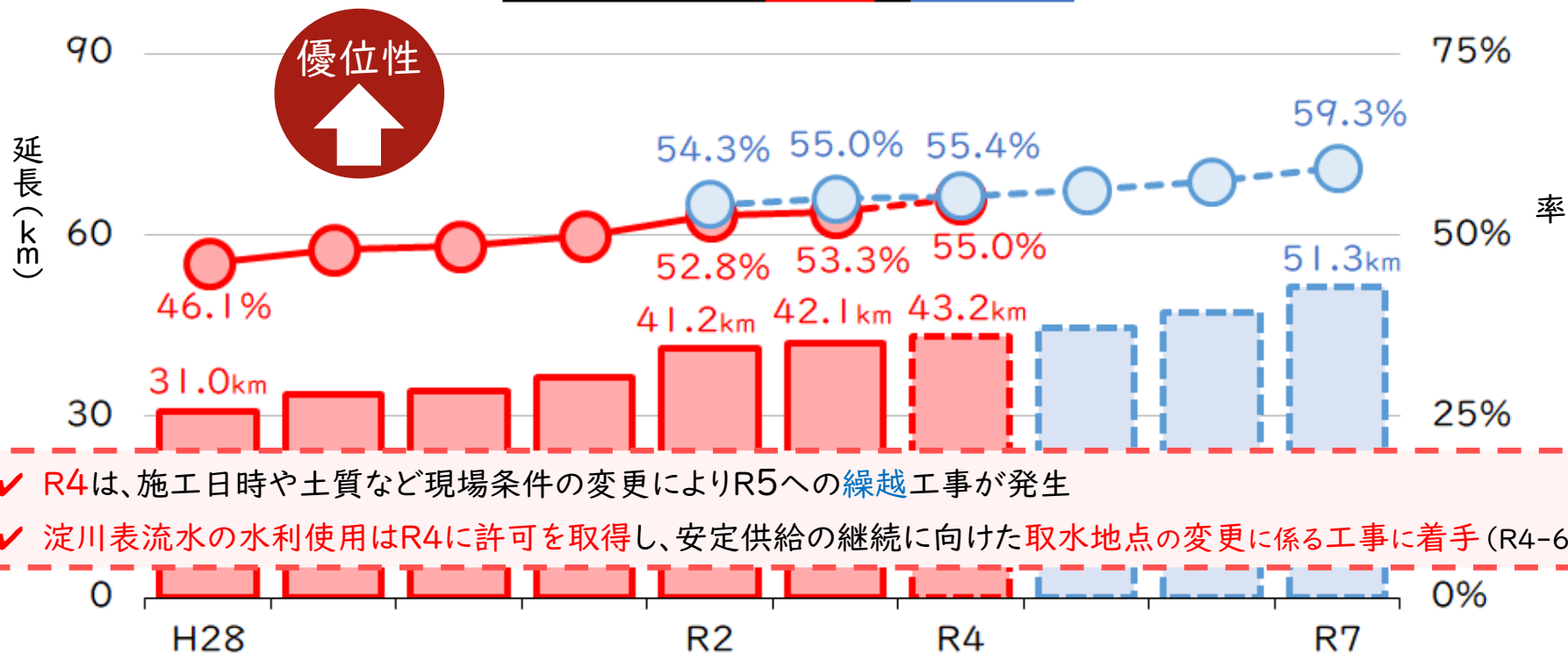
持続

地域

Ⅱ 災害に強く、安定して供給できる水道施設・体制の構築

- ✓ 市内の水道管の総延長はおよそ740km、9割超が**铸铁製**
- ✓ 現在は**耐震性**の継手を有する**ダクタイト**铸铁管を布設し、耐用年数は**100年** → **計画的な更新は年間1%**
- ✓ しかし、本市は**経年化管路**が多く、年間**1%+α**の更新が必要と認識 → **効果的な更新が必要**
- ✓ **重要度**で区分(基幹90km・支管650km)し、**経年化管路を8km(1%)**更新し、**基幹管路を2km(+α)**整備

基幹管路の**実績**と**計画値**



- ✓ R4は、施工日時や土質など現場条件の変更によりR5への**繰越**工事が発生
- ✓ 淀川表流水の水利使用はR4に許可を取得し、安定供給の継続に向けた**取水地点の変更**に係る工事に着手 (R4-6)

■ 耐震管延長 (実績) ▨ 耐震管延長 (計画)
● 耐震適合率 (実績) ○ 耐震適合率 (計画)

安全

強靱

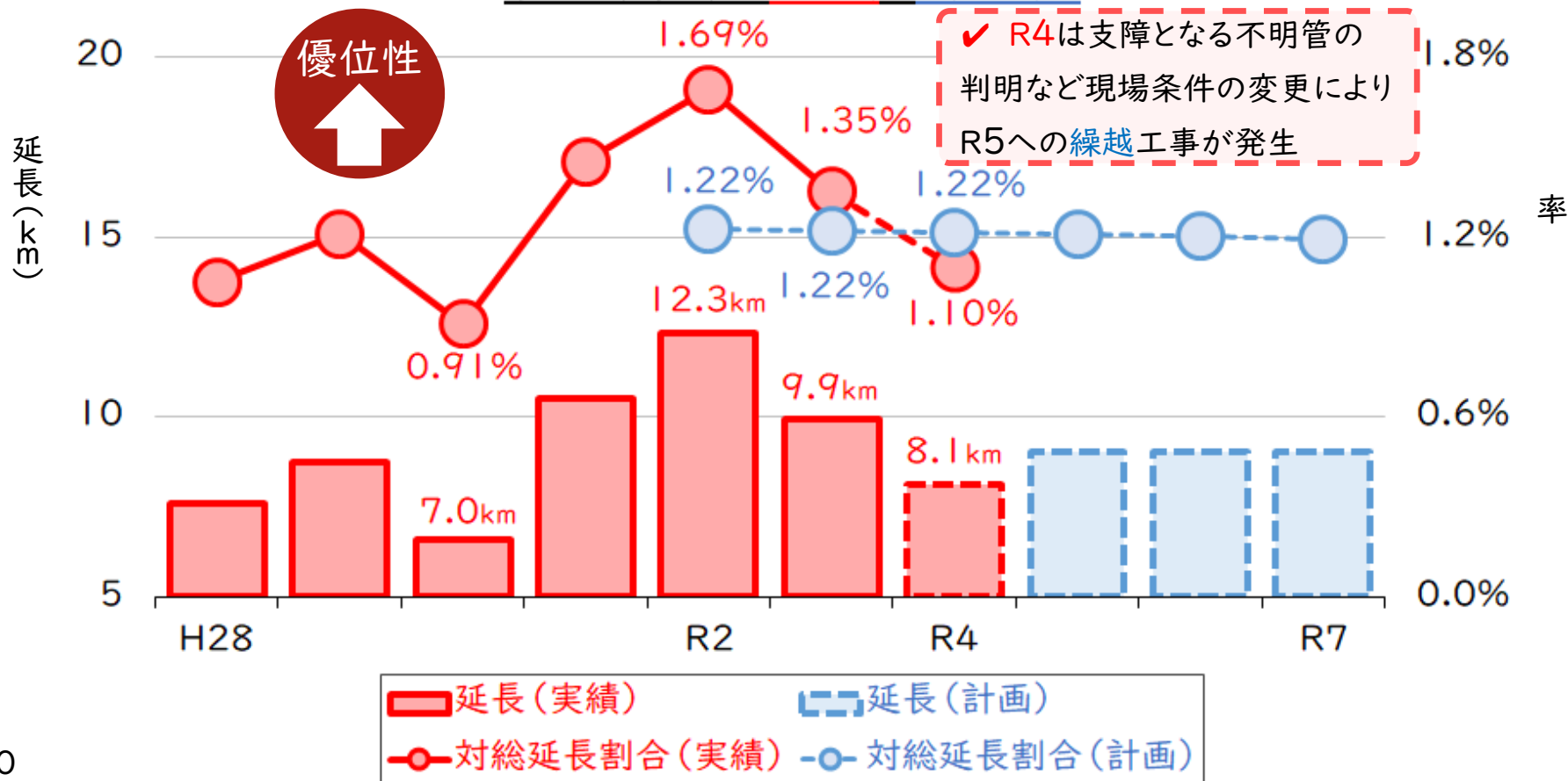
持続

地域

Ⅱ 災害に強く、安定して供給できる水道施設・体制の構築

- ✓ 市内の水道管の総延長はおよそ740km、9割超が铸铁製
- ✓ 現在は耐震性の継手を有するダクタイル铸铁管を布設し、耐用年数は100年 → 計画的な更新は年間1%
- ✓ しかし、本市は経年化管路が多く、年間1%+αの更新が必要と認識 → 効果的な更新が必要
- ✓ 重要度で区分(基幹90km・支管650km)し、経年化管路を8km(1%)更新し、基幹管路を2km(+α)整備

管路更新の実績と計画値



安全

強靱

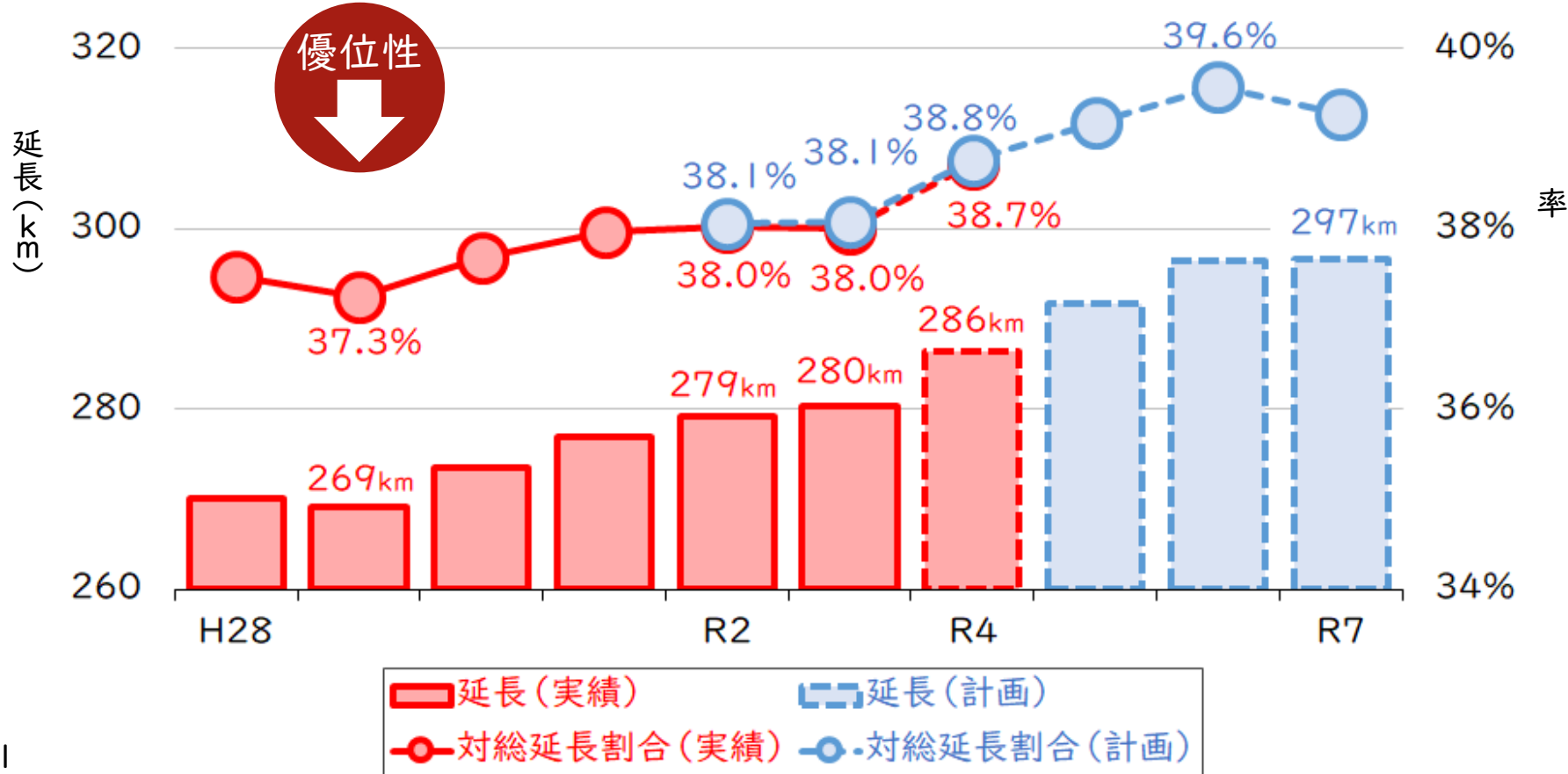
持続

地域

Ⅱ 災害に強く、
安定して供給できる
水道施設・体制の構築

- ✓ R6・7の計画見直しは現行ペース(8km+2km)を検証し、次期ターゲットと目標年次を定め、更新ペースを検討
→ PDCAを繰り返すことにより毎年1%の更新ペースへ
- ✓ 管路整備と併せて、引き続き既存施設の点検や修繕等維持管理に取り組む → 事故の未然防止と被害の最小化
- ✓ 大規模災害に備え、R4は新たな知見を基に、被害予測と復旧目標を設定し、ハード・ソフト両面から必要な対策を精査中

法定耐用年数超過管路の**実績**と**計画値**



安全

強靱

持続

地域

Ⅱ 災害に強く、安定して供給できる水道施設・体制の構築

37
か所

災害時給水所

避難所(小学校)において、組立式給水タンクを備蓄しています。



応急給水活動の様子



※和歌山市水管橋崩落事故時

8
か所

災害時給水拠点

浄水所及び配水場などにおいて、応急給水設備のほか、飲料水袋などを備蓄しています。

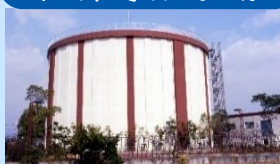
北千里給水拠点

津雲配水場



千里山配水場

佐井寺配水場



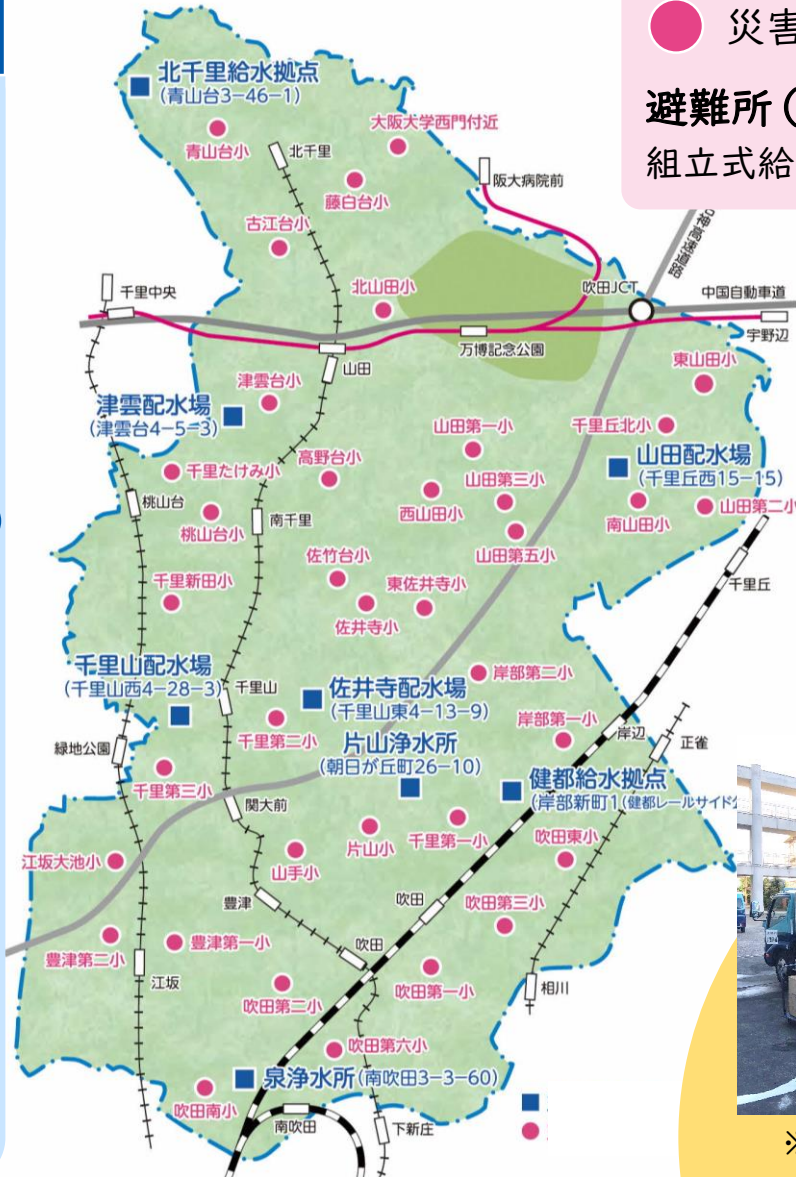
山田配水場

片山浄水所



健都
給水拠点

泉浄水所





安全



持続

地域

Ⅱ 災害に強く、安定して供給できる水道施設・体制の構築

片山浄水所

津雲配水場

北千里給水拠点



給水タンク車に補水するための水栓



来所された方々に応急給水するための水栓



安全

強靱

持続

地域

Ⅲ 将来にわたり
持続可能な
水道事業の経営

施策

2.人を育て、強い組織を築く

事業

1. **人材育成**と**技術の継承**

目的・概要

長期的な視点から**計画的に**
専門性の維持・向上を図る

人材育成方針



目指すべき
職員像

新規採用者
異動者

段階ごとに
必要な能力の明確化

実績と評価

✓研修の開催中止などにより、
当初計画の**研修時間数に未達**

管理指標

優位性



研修時間

(職員一人当たりの内・外部研修の受講時間:時間/人)

基準 (H30)	実績 (R2)	実績 (R3)	計画 (R3)
22.4	6.7	15.7	23.0

- ✓技術職員の現場力向上を目的とした
「**現場力向上方針**」をR4.3月策定
- ✓R4は方針を踏まえた**実行計画**を策定し、
R5に**管理指標の見直し**を図る
- ✓新型コロナウイルス**感染症対策**を講じて
内部研修を工夫



施策 2.人を育て、強い組織を築く

吹田市水道部 **現場力** 向上方針 (R4.3策定)

背景

- ✓ 豊富な知識と経験を有する **技術職員の減少**
- ✓ 技術職員の **現場経験の減少**

目的

人材育成により **強い組織** を築き、
安心 かつ **安全** な水道を
未来につなぐこと



これを踏まえ、
部独自の研修計画を **R4 策定中**

「現場力」のイメージ図

安全

強靱

持続

地域

IV 吹田らしさを活かした
市民に身近な
水道事業の運営

施策

2. 市民といっしょに水道を考える

事業

1. 多様な手段による広報の充実

目的・概要

広報の充実を図り、
多くの市民に重要情報や事業内容を周知

戦略的な広報



実績と評価

- ✓ コロナ禍の影響により、
管理指標はR2・R3未達
- ✓ 戦略的な広報活動の実施方針として
「**広報コンパス5D**」を策定
- ✓ 作成動画やQRコードを活用し、
広報誌やSNSなどを中心に情報発信
- ✓ 状況に応じて、
施設見学会や出前授業なども実施



広報コンパス5D
(令和4年3月策定)

広報活動の目的と方向性を示し、
具体的かつ戦略的に
実施する方針

安全

強靱

持続

地域

IV 吹田らしさを活かした 市民に身近な 水道事業の運営

大阪大学

連携テーマ

フューチャー・デザイン の実践

- ✓ 健全な水道を未来へつなぐため、
中長期の計画や施策を考える上で、
将来世代の視点が重要
- ✓ 近視性 や 楽観性 を克服して、
将来世代の利益 を考慮した
持続可能 な意思決定を導くための仕組み

取組内容

市民アンケート の共同実施

- ✓ 2,000名 の市民を対象とし、
令和4年度 に **実施**

部内ワークショップ と 部研修

- ✓ 職員を対象に 令和4年度 に **実施**
(計7回)



大阪学院大学

連携テーマ

若年層 に向けた水道事業の PR手法 の検討

- ✓ 大学生の目線 から若年層に向けた
PR手法を **検討**
- ✓ 学生への事業PR と
学生の実践学習 の場を提供

取組内容

PR手法 の検討

- ✓ 水道事業の概要や現状等について、
ゼミ生を対象に **説明講義**
- ✓ 経営学を学ぶ学生を対象に、
令和4年度 に **実施**

インターンシップ

- ✓ PRイベント・動画の企画・参加・実施を内容とし、
令和4年度 に **実施**



R5 の計画

- ✓ 鉛製給水管の更なる解消
個別通知、迅速な対応体制確保

- ✓ 水道GLPの更新認定
市民に信頼される検査体制確保
4年ごとの更新

安全



- ✓ 財源確保と環境負荷低減
太陽光発電に係る国庫補助金活用
小水力発電に伴う収入
電気自動車導入

- ✓ 人材育成と技術・技能継承
給水タンク車運転者育成
各種研究発表、派遣研修

- ✓ 効率的な業務執行
DX推進（ペーパーレス化、電子データ化）



持続

- ✓ 管路の計画的な更新・耐震化
基幹管路2.9km、配水支管8.3kmの工事実施
R6以降の設計

- ✓ 片山浄水所を中心とした整備
南千里・片山送水管布設工事
片山浄水所場内整備工事
泉地下水浄水機能の停止

- ✓ 淀川表流水の維持
南吹田3丁目導水管布設工事

- ✓ 水道施設の維持管理
漏水調査、配水池の劣化診断、設備の維持補修

強靱



- ✓ 広報・広聴の更なる充実
すいすいサーバを活用した広報活動
双方向の意思疎通
官学連携

- ✓ 便利で快適なサービスの提供
Webサービス充実
クレジットカード支払制度導入

地域

